

2016年3月

お客様各位

クリヤマ株式会社 東京支社
東京都千代田区神田駿河台 3-4-3

モンドターフ人工芝充填材「エコフィル」の安全性について

拝啓

貴社、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は大変お世話になり、誠に有難うございます。

一部メディアにて報道されております「米政府による人工芝と、がんの関連性についての調査開始」に関連しまして、人工芝充填材として使用されている黒ゴムチップに含まれる成分の人体への影響が懸念されており、皆様には大変ご心配をおかけしておりますが、その安全性についての見解を下記の通りお知らせ致します。

～ 記 ～

現在報道されておりますゴムチップと発がん性の問題は、黒ゴムチップの原材料となる廃タイヤに含まれている鉛やカドミウム、亜鉛といった重金属類等の有害物質が問題視されております。この様な話は実は10年ほど前から主に海外で議論されており、複数の公的検査機関、大学の研究所、民間検査機関など世界各地で検証が行われていましたが、因果関係は証明されておりました。

また有害物質の問題だけでなく、人工芝表面の急激な温度上昇の問題、ゴム独特の臭いの問題、材料比重が軽く雨による排水溝への流出の問題等もありました。

弊社のモンドターフ人工芝の充填材に使用する「エコフィル(熱可塑性樹脂カラーチップ)」は、この様な背景がある中で、従来人工芝の充填材として国内及び海外でも一般的に使用されていた廃タイヤ等の黒ゴムチップにかわる充填材として製品開発がされました。

まず「エコフィル」は、主原料をゴムではなく熱可塑性樹脂を採用し、廃タイヤは一切使用しておりません。この原料の選択は、黒ゴムに含まれる有害物質や重金属類の含有量を最低限に減らし、人体への安全性と環境性を確保するためです。

更に黒色ではなくグリーンやブラウンのカラーチップにすることにより、表面温度上昇抑制効果があります。

また、熱可塑性樹脂を主原料に選択することにより、黒ゴムの比重より約 1.4 倍以上重くすることができ排水溝への流出を防ぐ効果、さらにゴム独特の臭いを解消する効果があります。

この様なコンセプトを元に製品開発された人工芝用の充填材ですので、今回報道されております廃タイヤゴムチップと発がん性の問題に関しまして弊社の「エコフィル」は、第三者機関による各試験も実施し、その安全性が確認されておりますので、その試験結果を合わせて添付させていただきます。

※添付書類一覧

- ①急性経口投与毒性試験結果（試験機関：財団法人 食品薬品安全センター）
- ②重金属類含有量測定試験結果（試験機関：現）一般財団法人 化学物質評価研究機構）
- ③土壌汚染溶出試験結果（試験機関：一般財団法人 化学物質評価研究機構）

上記の通り健康への影響はないと認識しておりますが、今後もその動向を注意深く見守り、継続して安全性の確認を進めていく所存でございます。

今後とも引き続きご愛顧いただきます様、宜しく願い申し上げます。

敬具